

試 験 地 設 定

区 分	自主課題
-----	------

森林技術センター

(様式1)

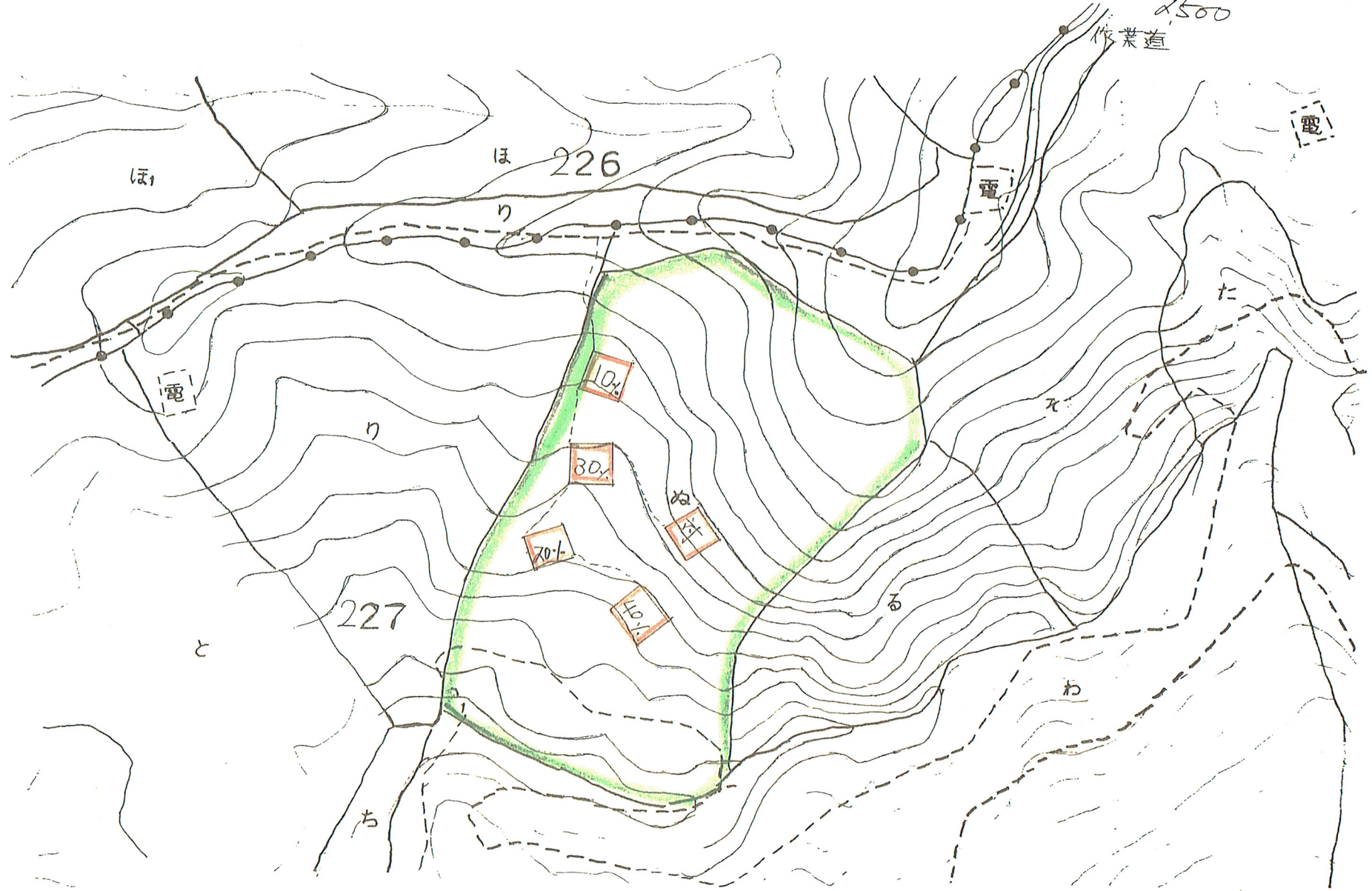
開発課題	林分閉鎖時における生育段階の下層植生の変化と目的材生産の密着の解明					期 間	自H7年度 至H16年度	
開発目的	照度不足により下層植生が消滅衰退に移行している林分について、照度を上げることによる下層植生の回復と林分密度との関連を解明する。 (主として保育間伐)							
設 定	場 所	営 林 署	森林事務所	国 有 林	林 小 班			
		宮 崎	高 岡	楠 見	2 2 7 ぬ			
	数 量	面 積	数 量					
		4.57HA (4箇所)	スギ					
	設 定 年月日	平成7年8月		終 了 年月日				
担 当	営林局	森林技術センター 業務第一係						
地況及び 気 象	標 高	方 位	傾 斜	基 岩	土 壤 型	土 性		
	200m	南西	中	頁 岩	BC	匍行土		
	深 度	堅密度				地 位		
						スギ	ヒノキ	
					10	9		

林	林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹 高	材積 ^(ha)	本 数
	24	人工林	スギ ヒノキ	78 22	16.7	12.8	0.167m ³	
	相対照度	下層植生	侵入樹種等(2条植階段と階段との約5m幅内)					
	設定前 地 表 1.2m 9%	7147 7107	アオキ イヌビワ ホソダタブ ヤマグワ イチイガシ					
設 定 前 の 施 業 経 緯	昭和45年度 : 皆伐 4.57HA 昭和46年11月 : 地拵 4.57 72人 昭和47年3月 : 植付 4.57 101 スギ10.4千本ヒノキ3.0千本 昭和47年4月 : つる切 4.57 昭和48年8月 : つる切 4.57 昭和49年10月 : 除伐 4.57 昭和50年6月 : つる切 4.57 昭和51年6月 : つる切 4.57 昭和52年 : 下刈 4.57 昭和53年 : 除伐 4.57 昭和54年 : 除伐 4.57 平成2年10年 : つる切 4.57							
	全 体 計 画	1 試験地設定 (本数間伐木率: 40%, 30%, 20%) 2 成長量調査 (樹高は10cm単位, 胸高径はcm単位で測定) 3 下層植生の繁茂状況調査 (写真等)						

- 記載要領
1. 区分は示、自主、任意課題別とする。
 2. 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、試験等の指導関係を記入する。

実 施 計 画	試験地設定図
<p>1 試験地設定 (本数間伐率：40・30・20%) 20m×20mのプットを、40%区, 30%区, 20%区と対象区 (0%区) の4個所を設置する。 ※選木は被圧木・不整形木を主に間隔を考慮して実施する。</p> <p>2 成長量調査 (樹高は10cm単位, 胸高径はcm単位で測定) 造林木の樹高・胸高径測定 (設定時調査) 調査方法：調査プット内の樹高, 胸高径を測定</p> <p>3 下層植生の繁茂状況調査 (写真等) 下層植生の測定は, 標準的な個所において5×5mの下層植生の束数 (1mけんなわで軽くしめる) を測定する。</p> <p>4 試験地の表示 全体表示看板：1基 プット内の表示方法：各プットの四隅に境界標のL杭を打ち, プット内の造林木及び有用樹に隣接させてNOを付したポリ杭 (もしくは表示用札をぶら下げる) を打ち込み表示する。</p> <p>5 照度調査 各プット内を設定時において, 伐採前・後について観測する</p>	<p>試験地位置図 蜷尻国有林 222ほ4 林小班</p>

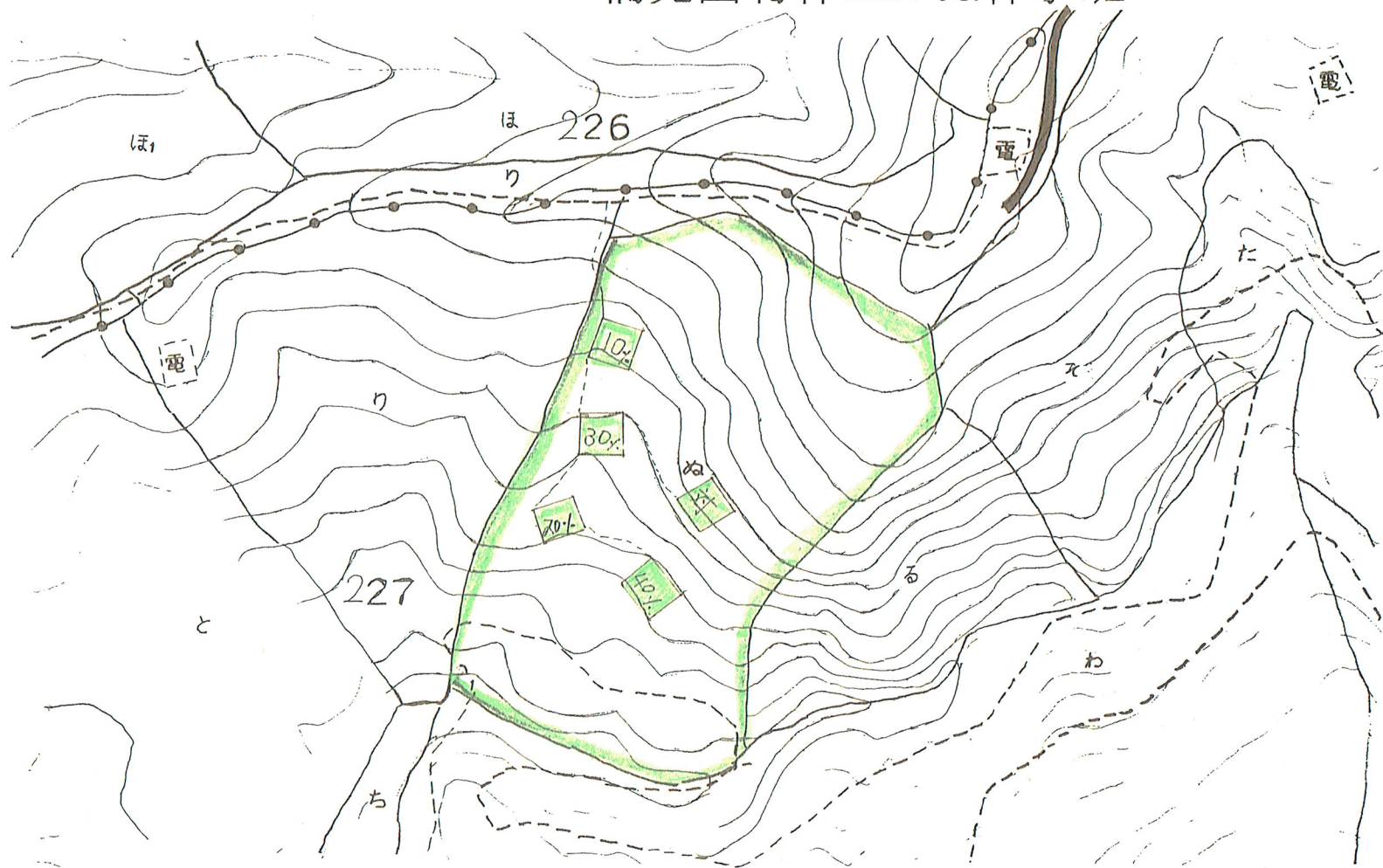
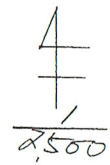
4
2500



プロット (亩伐率)

位置図

楠見国有林227ぬ林小班



プロット(割合率)

課題名	林分閉鎖時における生育段階の下層植生の変化と目的材生産の密度の解明																																																		
課題区分	自主課題	開発 箇所	楠見国有林 227ぬ 林小班	開発 期間	平成7年度 ～ 平成16年度																																														
当年度実施計画			当年度実施報告																																																
<ol style="list-style-type: none"> 1 試験地設定 2 樹高，胸高径測定 3 下層植生調査 4 試験地の表示 5 照度調査 	<ol style="list-style-type: none"> 1 試験地設定 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">間伐率</th> <th style="width: 15%;">区域面積</th> <th style="width: 15%;">成立本数</th> <th style="width: 15%;">ha当たり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10%</td> <td>0.04 HA</td> <td>55</td> <td>1375</td> </tr> <tr> <td>20%</td> <td>0.04</td> <td>63</td> <td>1575</td> </tr> <tr> <td>30%</td> <td>0.04</td> <td>68</td> <td>1700</td> </tr> <tr> <td>40%</td> <td>0.04</td> <td>70</td> <td>1750</td> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0.04</td> <td>120</td> <td>3000</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">各プロット写真記録</p> 2 樹高，胸高径測定 別途調査野帳保管 3 下層植生調査 別途調査野帳保管 樹冠下においては下層植生は少なく 除伐した列幹では、その後のぼう芽に よる発生が主である。 4 試験地の表示 : 全体看板1基 5 照度調査 平成7年8月8・16日 各プロット10点観測 観測野帳は別途保管 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">相対照度 プロット</th> <th style="text-align: center;">伐 前</th> <th style="text-align: center;">伐 後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10%区</td> <td style="text-align: center;">7.75</td> <td style="text-align: center;">9.22</td> </tr> <tr> <td>20%区</td> <td style="text-align: center;">12.06</td> <td style="text-align: center;">42.53</td> </tr> <tr> <td>30%区</td> <td style="text-align: center;">11.42</td> <td style="text-align: center;">16.74</td> </tr> <tr> <td>40%区</td> <td style="text-align: center;">8.30</td> <td style="text-align: center;">98.07</td> </tr> <tr> <td>対象区</td> <td style="text-align: center;">3.64</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> 					間伐率	区域面積	成立本数	ha当たり	10%	0.04 HA	55	1375	20%	0.04	63	1575	30%	0.04	68	1700	40%	0.04	70	1750	0%	0.04	120	3000					相対照度 プロット	伐 前	伐 後	10%区	7.75	9.22	20%区	12.06	42.53	30%区	11.42	16.74	40%区	8.30	98.07	対象区	3.64	
間伐率	区域面積	成立本数	ha当たり																																																
10%	0.04 HA	55	1375																																																
20%	0.04	63	1575																																																
30%	0.04	68	1700																																																
40%	0.04	70	1750																																																
0%	0.04	120	3000																																																
相対照度 プロット	伐 前	伐 後																																																	
10%区	7.75	9.22																																																	
20%区	12.06	42.53																																																	
30%区	11.42	16.74																																																	
40%区	8.30	98.07																																																	
対象区	3.64																																																		



